



ごあいさつ

大阪府高等学校生物教育研究会協力会

会長 大島 みどり

協力会会員のみなさま、ご無沙汰しております。

また、新しく協力会会員になられたみなさま、おめでとうございます。

私たち大阪府生物教育研究会協力会会員は、みなさまのご入会を心より歓迎いたします。

昨年のご挨拶には、新型コロナウイルスについて、「未曾有の」という言葉を使わせて頂きました。

当時、私の頭の中に今年の状況は見ていたでしょうか？

「来年もこの状況が続いたら困る」との認識はありましたが、どこかで「2020年度内には収束するだろう」との甘い思いがあったことは否めません。

「あまいわ!」という声が全方位から聞こえそうですが(笑) 楽観したかった当時の自分がいました。

翻って現在の世界はどうでしょうか？

インドの例を引くまでもなく、昨年のこの時期には考えもできなかったような惨状が広がっています。今までの世界の歴史の中では、ペスト等大疫病を何度も人類は乗り越えては来ていますが、21世紀の医学でもこの程度なんだと愕然としております。

とは言え、やっと日本でもワクチン接種が動き出しました。

WEB等で、様々な情報が手軽に手に入れられる現在、若者を中心に「自分にとって都合の良い」情報だけを取り込んでいる人も多く、このような時にこそ現役教諭や私たち協力会会員が客観的で冷静な情報を伝えていくことが使命だと思っております。みなさまどうぞよろしくお願い致します。

私事になりますが、4月中旬に兵庫県明石市に転居いたしました。子供夫婦が「子育てを助けて」と言ってくれたので思い切りました。明石市は現在日本では珍しく人口が増えている自治体です。私が住む街も30代40代のご夫婦に就学前後の子供さんがいらっしゃるご家庭ばかりで、この連休もBBQやスポーツ・自転車等楽しそうな姿がたくさん見られます。

「この子供さんたちの将来を明るいものに!」との思いを強くいたしました。

【お詫びと訂正】

昨年9月に発行しました「協力会だより第23号」にて、渡邊先生と辻本先生の叙勲の紹介の場面で、渡邊先生を「研究会の元会長」、辻本先生を「研究会の事務局を長年勤められ」と紹介しました。ご指摘を受けて確認しましたところ、渡邊先生は研究会の会長をされていた事実はなく、副会長をされていたしております。また、辻本先生も、事務局をされていた時期はあるものの「長年」ではなく、むしろ副会長を長年されていたしております。会長、事務局が若返りした(?)直後ということもありますが、確認不足であったことは否めません。関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げますとともに、謹んで訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。

(大島みどり, 北浦隆生, 中井一郎)

コロナ下2年目の令和3(2021)年度が始まりました

「中国武漢から始まった COVID-19 が席卷する中、令和2(2020)年が始まりました。」は22号の出だしの言葉です。1年が過ぎましたが、変異株の出現とワクチン接種の遅れから、3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、いまだに厳しい状態が続いております。

振り返れば昨年度は、研究会でも、総会が中止になり、講演会、研修会、委員会がオンラインになったりと、ふだんの活動ができない状況が続きました。それでも、各先生方のご努力で生徒研究発表会や会員研究発表会などの行事は(制約を設けながらも)開催し、現在も会誌や生物実験集録改訂版の指導資料の発行に向けた作業が進んでいるようです。

協力会でも、研究会総会に合わせて実施予定の総会が流会となり、会計報告等はこの紙面(23号)で行うなど、異例の態勢になり、1年間の活動も、研究会への補助金の贈呈と2回のたよりの発行のみという、大変限られたものになりました。

今年度も4月5日に大阪がまん延防止等重点措置に指定され、4月25日からは緊急事態宣言が発令されています。高等学校でも、部活動の中止や密になる活動の禁止など、制約がある中での授業実施となっており、事務局である北浦・中井の勤務校でもオンライン授業を続けている状況です。

それでも現時点では、本年度は研究会・協力会の総会も、それに続く講演会も開催の予定です。状況によっては、オンラインでの開催になったり、昨年同様に中止になる可能性も残っております。昨年同様に、直前の時期に研究会のHPで開催の有無やオンラインの場合の配信方法などご確認ください。

また、昨年度予定されていて1年の延期になっている日本生物教育会の全国大会(長野大会)は、オンラインでの開催が決まりました。その結果、2022年北海道大会、2023年度の大阪大会が確定したようです。協力会でも、研究会の活動に対する補助を続けつつ、2023年の大阪での全国大会の開催に向けて、さらなる協力・支援を広げていく必要を感じております。協力会の活動もそれなりの制約を受けている状況ですが、会員の皆様方には、もし可能でしたら、総会にご参加いただき、研究会の状況や大阪や日本の生物教育の現状に目を向けていただきたいと思います。その上でのさらなるご支援をよろしくお願ひしたいと考えております。

(事務局 中井記)

ちょっとヤモリ (研究会のロゴについてのマメ知識)

協力会のロゴでもあるニホンヤモリ *Gekko japonicus* は、シーボルトが日本産の標本をもとに記載したため学名にも「日本の」が入っていますが、韓国や中国東部にも分布しており、現在では平安時代以降に大陸から移入した外来種といわれています。しかし近年の研究では、日本産ヤモリも種分化が進んでいることが明らかになっており、大阪には、ニホンヤモリのほか、タワヤモリ *G. tawaensis* という日本固有種が確認されています。ニホンヤモリでは、尾の付け根の背側の斑紋がW字型になっているのに対し、タワヤモリでは尾の端まで同じ縞模様が続くそうです。一度自宅周辺のヤモリをじっくり観察してみてください。



ニホンヤモリ タワヤモリ

下手な絵ですみません

(中井一郎)

今年度研究会ならびに協力会の総会について

今年度の大阪府高等学校生物教育研究会の総会について、研究会事務局の大阪教育大学附属高校池田校舎岡本元達先生から案内をいただきました。現在のところ、下記の予定通り実施することになっております。協力会では 10 分程度時間をいただき、協力会の総会を行うとともに、協力会から研究会への補助金の贈呈式を行いたいと考えております。ぜひ万障繰り合わせの上、ご参集いただければと思っております。

日 時 令和 3(2021)年 6 月 11 日(金) 午後 2 時 30 分より

場 所 大阪府立天王寺高等学校(大阪市阿倍野区三明町 2-4-23, JR 阪和線美章園駅より徒歩 5 分)

内 容 14:30～ 大阪府高等学校生物教育研究会 総会

15:00～ 講演会 藤枝 秀樹先生(文部科学省初等中等教育局視学官)

演題等は未定ですが、令和 4 年度から始まる高等学校新指導要領に関するお話になると思います。

終了後すぐ 大阪府高等学校生物教育研究会協力会(本会)総会

なお、緊急事態宣言が延長された場合など、総会がオンライン開催になったり、中止になったりする可能性もあります。昨年同様に、協力会に、別途ご案内を差し上げる余力はございません。対面開催あるいはオンライン開催のいずれか、場所の変更などについては、研究会の HP (<http://seiken.sub.jp>) 等でご確認ください。

日本生物教育会全国大会(長野大会)はオンライン開催

先の記事でも書きましたように、日本生物教育会の全国大会(長野大会)は、4 月 19 日にオンラインでの開催が決定しました。長野県の先生方には、大変厳しい決断であったと思いますし、エクスカージョンを含め大会を楽しみにしておられた先生方には非常に残念な決定ですが、今般の状況を踏まえると、致し方ないことかと思えます。

開催日程 2021 年 8 月上旬 詳細は決まり次第 HP 上にアップ(<http://naganorika.dee.cc/jabe/jabe.html>)

開催場所 オンライン

大会主題 フィールドの魅力、再発見～信濃路から自然を見つめる生物教育～

記念講演 生物多様性の世界的ホットスポットの中のホットスポット～信州～

信州大学教授 東城 幸治 先生

シンポジウム 信州の生物多様性をいかに守っていくのか。

研究発表 1. 教材・実験観察に関するもの 2. 生物教育・指導法に関するもの
3. 自然・環境教育に関するもの 4. 学術研究に関するもの

の 4 分科会

ポスターセッション 検討中

申し込み 大会要項の詳細がまもなく発表されるとのことです。申し込み方法等はそのときまでお待ちくださいとのことでした。

諸連絡

1. 今年度も続いて会員登録（会費振り込み）をお願いします。

会費振り込み用紙を同封しますので、6月上旬ころまでに振り込んでいただきますよう、よろしく
お願いします。会費は正会員 3,000 円、賛助会員 2,000 円ですが、寄付を上乗せして振り込んでい
ただければ大いに助かります。昨年度寄付をいただいた先生方には、重ねて御礼申し上げます。な
お、振込用紙の連絡欄に近況をお書きください。次号に掲載いたします。

3. 令和 2 (2020)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員

(R3.3.未現在、令和 2 年度会費納入者)

(正会員) (記載順はアイウエオ順)

足立 堯	石崎 英男	井上 慎一	今安 達也	江坂 高志	大江 進
大島 みどり	奥本 隆	小畑 和人	加賀 友子	萱村 善彦	河添 純子
北浦 隆生	木村 進	河野 成孝	佐々木 洋一	澄川 冬彦	竹林 隆昭
橘 淳治	田中 正視	辻本 昭信	寺岡 正裕	富田 織江	中井 一郎
長尾 祐司	中野 俊勝	平岡 誠志	廣瀬 祐司	福坂 邦男	古久保 俊子
牧野 修司	松田 仁志	松本 弘	安井 博司	山住 一郎	吉川 浩
和佐 眞宏	渡邊 勉治郎				

(以上 38 名)

(賛助会員)

柴原 信彦 幸川 由美子

(以上 2 名)

(元会員)

浅野 素雄	山田 惇	山田 孝子	寺井 見一	原田 彰	三木 正士
折井 亮夫	西河 巖	中村 武男	柿迫 修	吉村 烈	江藤 昌晴
中根 将行	奥野 善彦	杉山 友重			

(物故会員)

佐古 廣衛 原本 哲也 多々 浩爾 中原 圓 平賀 正男 梶村 重次

4. 令和 2 (2020)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』役員

- ・会長……大島 みどり
- ・副会長……井上 慎一
- ・幹事……北浦 隆生, 中井 一郎, 橘 淳治
- ・賛助会員代表……柴原 信彦 (研究会会長)
- ・事務局 (事務局長……北浦 隆生, 会計……中井 一郎, 会計監査……橘 淳治)

今回も、コロナ関連で行事動向がわかるまで、ということで本「たより」の発行を遅らせておりました。それでも、記載しました総会予定などは今後の状況で変わる可能性もあります。ぜひ、先にあげた研究会の HP でご確認ください。追手門の北浦・中井まで問い合わせいただくことも可能です。

事務局へのお問い合わせは、追手門学院大手前高等学校(06-6942-2235)北浦・中井

または、北浦 隆生 (586-0007 河内長野市松ヶ丘東町 1349-1)

中井 一郎 (545-0001 阿倍野区天王寺町北 3-4-15)までご連絡ください。